



平成 20 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング  
代表者名 代表取締役社長 小 澤 洋 介  
(コード番号：7774 NEO)  
問 合 せ 先 専務取締役 大 須 賀 俊 裕  
( TEL. 0533-66-2020 )

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び  
通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 20 年 8 月 12 日付当社「平成 21 年 3 月期第 1 四半期決算短信（非連結）」にて発表しました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 第 2 四半期累計期間 業績予想数値との差異（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	97	△630	△637	△657
今回発表予想 (B)	60	△561	△566	△584
増減額 (B - A)	△37	69	71	73
増減率 (%)	△38.1%	-	-	-

2. 通期 業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	321	△1,121	△1,140	△1,161
今回発表予想 (B)	273	△1,038	△1,051	△1,071
増減額 (B - A)	△48	83	89	90
増減比率 (%)	△15.0%	-	-	-

3. ご参考：前期の実績（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第 2 四半期累計期間	67	△485	△452	△453
通期	111	△1,071	△1,049	△1,086

#### 4. 修正の理由

自家培養表皮ジェイスについては、売上計画に変更はありません。保険収載（健康保険の対象となること）に向けて、当社は厚生労働省より6月に求められた追加資料を提出しました。

自家培養角膜上皮は株式会社ニデックからの開発委託を受け、イタリアの角膜バンクであるベネトアイバンクから技術移転を受け開発を進めております。平成20年8月22日付当社「自家培養角膜上皮に関する事業展開地域の拡大について」で開示したとおり、本年度は15万ユーロ（24百万円）相当金額がベネトアイバンクとの契約から減額されることになったため、主にこれに相当する金額が株式会社ニデックからの受託開発収入の減少となりました。

ラボサイトシリーズは、現在我が国で皮膚刺激性試験に関する標準化（ガイドラインの設定等）活動が進展しており、この標準化の動向が当社のラボサイトシリーズの売上に影響を与えます。標準化に向けて根拠データの収集により、少々時間を要する可能性があるため、関連する売上を修正しました。

以上より、第2四半期累計期間での売上は当初予想よりも37百万円減少し、60百万円となる見込みですが、人件費及び支払手数料等の経費削減により営業損失は約69百万円改善し、△561百万円となる見込みです。通期での売上は当初予想よりも48百万円減少し、273百万円となる計画ですが、経費削減に努めることにより営業損失は約83百万円改善し、△1,038百万円となる計画です。

なお、平成21年3月期通期の売上高予想の内訳は、次のとおりです。（単位：百万円）

事業セグメント	内訳	修正前売上高	修正後売上高
再生医療製品事業	自家培養表皮ジェイス	144	144
	自家培養角膜上皮（受託）	113	91
研究開発支援事業	ラボサイトシリーズ	64	38
合計		321	273

#### （業績予想に関する注意事項）

上記に記載しました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化などにより上記予想数値と異なる場合があります。

以上

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行なうに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行なうようお願いいたします。